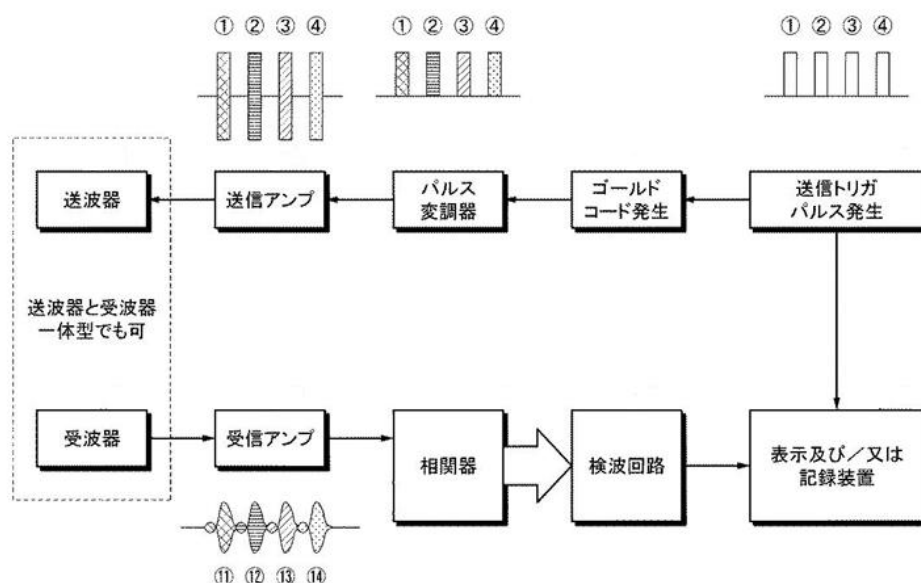


電算機類

装置の小型化・省電力化が可能な音響測定方法

発明の名称	音響測定装置、音響測定方法、マルチビーム音響測定装置及び開口合成ソナー		
出願人/権利人	株式会社AquaFusion	発明者	笹倉 豊喜、松尾 行雄
出願日	平成28年3月15日	出願番号	2016-050441
公開番号	2017-166880	特許番号	6587564
法的状態	登録中		

代表図



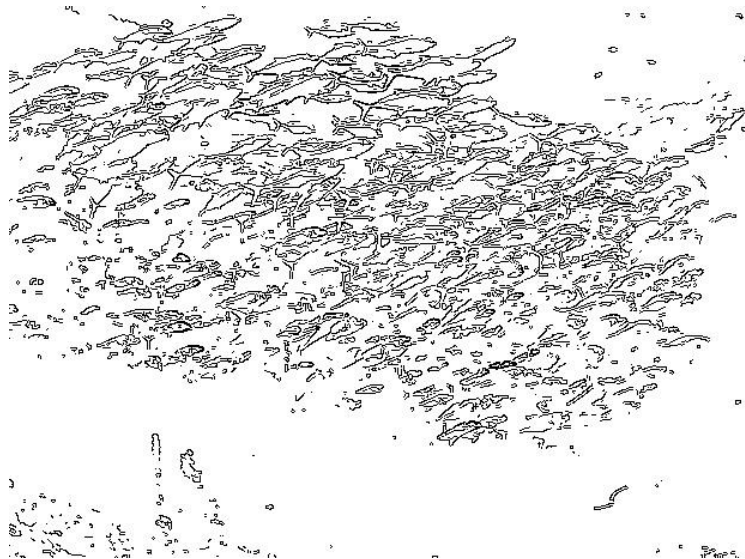
発明の概要

超音波を使用して深度、対象までの距離等を測定する音響測定装置及び音響測定方法

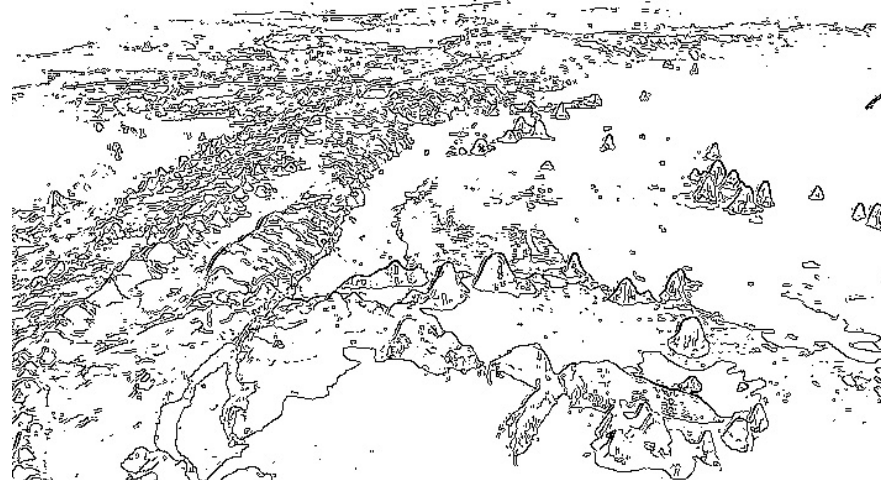
特徴

本発明によって、送信周期を短くできるので、水平方向の分解能を高められる。また、送信周期が短いため前後の受信エコー信号に相関がある。したがって、前後の受信エコー信号を加算するなどしてSN比を向上できるので、低い送信出力でも受信エコー信号を加算処理でき、装置の小型化や省電力設計が可能になる。処理装置の機能は、磁気ディスク、光磁気ディスク、ROM等の記録媒体にプログラムとして記録できる。したがって、この記録媒体をコンピュータで読み取ってMPU、DSP等で実行することにより音響測定装置の機能を実現できる。

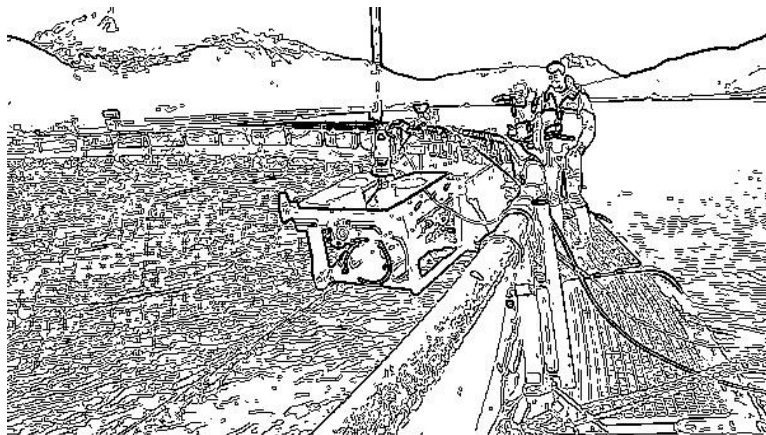
応用の可能性



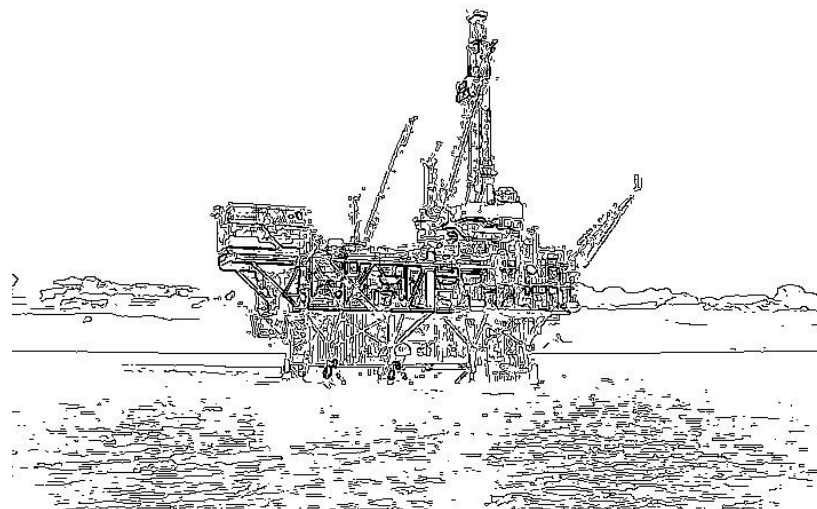
魚群探知



海洋計測



水産養殖



海底鉱物採掘

など

応用の可能性

- ・魚群探知
- ・海洋計測
- ・水産養殖
- ・海底鉱物採掘
など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・全国漁業協同組合連合会
- ・大阪府漁業協同組合連合会
- ・国立研究開発法人海洋研究開発機構
- ・古野電気株式会社
- ・日本海洋株式会社
- ・JFEアドバンテック株式会社
- ・双日株式会社
- ・マルハニチロ株式会社
- ・日本水産株式会社
- ・株式会社極洋
- ・株式会社三井三池製作所
- ・深田サルベージ建設株式会社
- ・住友金属鉱山株式会社
- ・清水建設株式会社
- ・新日鉄住金エンジニアリング株式会社
- ・三菱重工業株式会社
- ・住鉱資源開発株式会社
など

株式会社AquaFusionの本発明に関する最新動向

- ・株式会社AquaFusionのホームページは見受けられないが、同社製品「Aquamagic」(<https://aquamagic.firebaseio.com/>)を紹介するホームページには、本件特許に関連すると考えられる魚群探知機についての情報が掲載されている。